

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

ご審査いただく案件

名 称【申請者】		使用等の内容	検討状況		承認の状況			
					カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
			農作物 分科会	総合 検討会	隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1	半矮性トウモロコシ (<i>GA20ox_SUP</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.)Iltis) (MON94804, OECD UI: MON-94804-4) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 7月28日 9月29日	2022年 11月8日	-	-	-	-
2	除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>Beta vulgaris</i> L. ssp. <i>vulgaris</i> var. <i>altissima</i>) (KWS20-1, OECD UI: KB-KWS201-6) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 7月28日 9月29日	2022年 11月8日	-	-	-	-
3	長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネ (<i>D6E(Pp)</i> , <i>D5D(Tc)</i> , <i>D6D(Ot)</i> , <i>D6E(Tp)</i> , <i>D12D(Ps)</i> , <i>O3D(Pir)</i> , <i>O3D(Pi)</i> , <i>D4D(Tc)</i> , <i>D4D(Pl)</i> , <i>D5E(Ot)</i> , <i>AHAS(At)</i> , <i>Brassica napus</i> L.) (LBFLFK, OECD UI: BPS-BFLFK-2) 【BASF ジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 7月28日 9月29日	2022年 11月8日	2020年6月	-	-	-
4	白花オンシジウム (<i>PSYi</i> ; <i>Oncidesa</i> Gower Ramsey) (‘Honey Snow’, MF-1) 【国立大学法人筑波大学】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 7月28日 9月29日	2022年 11月8日	-	-	-	-

注1:「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「－」は未承認であることを示す。
また、農作物の「隔離ほ場」欄における「免除」は、トウモロコシについては隔離ほ場試験が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。
注2:「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「－」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。
ただし、「－」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

審査番号1	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	半矮性トウモロコシ (<i>GA20ox_SUP, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.)Itis) (MON94804, OECD UI: MON-94804-4)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有 無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号2	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>Beta vulgaris</i> L. ssp. <i>vulgaris</i> var. <i>altissima</i>) (KWS20-1, OECD UI: KB-KWS201-6)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有 無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号3	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネ (<i>D6E(Pp)</i> , <i>D5D(Tc)</i> , <i>D6D(Ot)</i> , <i>D6E(Tp)</i> , <i>D12D(Ps)</i> , <i>O3D(Pir)</i> , <i>O3D(Pi)</i> , <i>D4D(Tc)</i> , <i>D4D(Pl)</i> , <i>D5E(Ot)</i> , <i>AHAS(At)</i> , <i>Brassica napus</i> L.) (LBFLFK, OECD UI: BPS-BFLFK-2)			
申請者	BASF ジャパン株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する 行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有 無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号4	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	白花オンシジウム (<i>PSYi</i> ; <i>Oncidesa</i> Gower Ramsey) (‘Honey Snow’, MF-1)			
申請者	国立大学法人筑波大学			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有 無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			